

レモン彗星 (C/2025 A6) 観測

2025.11.01 宮田宏美

昨年の紫山アトラス彗星に続いてレモン彗星がやって来た。今年の1月3日にアメリカ・アリゾナ州のレモン山天文台で発見されその名前が付けられた。コードはC/2025 A6、約1000年の公転周期を持ち、地球への最接近は10月21日、光度は最大で4等級と予想されている。

秋雨前線の影響で雨模様の天候が続いていたが10月27日冬型の気圧配置(下図)になり観測日和になったので近くの河川敷で撮影にチャレンジした。



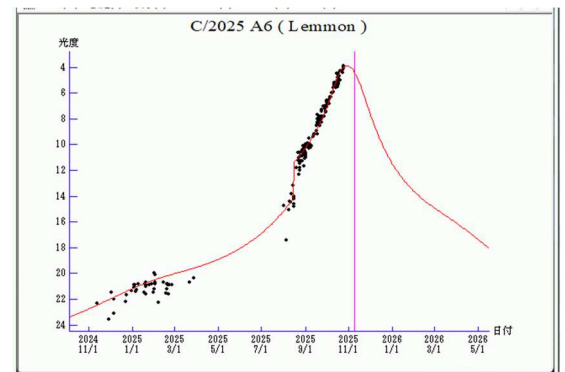
撮影地：小山市間々田 NikonD600 300mm ISO4000 VixenGP2 追尾 8sec x4 コンポジット処理



C/2025A6 位置予想図

彗星の撮影は時間との勝負である。彗星の光度が4等級で肉眼はおろか双眼鏡でもその位置を特定することは難しい。もたもたしていると地平線に沈んでしまう。天文誌などに掲載されている位置予想図を参考にモニターの像を見ながら方角を微調整して撮影する。

パソコンで画像処理をすると彗星の尾の微細な構造も見えてくる。彗星から伸びるダストとイオンの尾も識別できる。自分の持っている機材でどこまで細部を捉えられるか、彗星撮影の醍醐味のひとつでもある。



光度予想

< Astro Arts HP より引用 >

